

PTAとしての「働き方改革」メッセージ

<令和8年度のPTA活動に向けて>

～学校・幼稚園の働き方改革を踏まえた、子どもたちの学びと育ちに資する活動を進めよう～

- これまで時間外勤務をいわず、子どもたちと向き合い、全力で取り組んでいただいた先生方に改めて感謝申し上げます。いま、授業や学校行事のみならず、登下校の見守りなど学校以外が担うべき業務や一部の過剰な要求や苦情への対応などにより、先生方の時間外勤務は深刻な社会問題となっています。先生方が教職のやりがいである子どもの健やかな学びと育ちに日々笑顔で寄り添うためには、時間的・精神的なゆとりを持つことが必要となっています。
- 令和7年6月に法改正が行われ、国においても保護者を含めた全ての関係者との連携・協働により、先生方が心身ともに充実した状態で子どもに全力で向き合える環境を整えるなど、各学校・幼稚園での働き方改革が更に推進されております。
- こうした状況を踏まえ、私たちPTAには、各校園PTAが学校園との連携をこれまで以上に密にし、より多くの保護者の参画のもと、持続可能な活動を通して、真に子どもたちのための組織として取り組むことが一層求められています。
- 「今こそ子どもを真ん中に」を合言葉に、京都市PTA連絡協議会(以下「市P連」)は、子どもたちの学びと育ちに資するPTA活動の展開と学校・幼稚園の働き方改革の推進に向け、引き続き取り組んで参ります。

1 共に進める学校・幼稚園の働き方改革の推進

- ・平成30年3月の『学校・幼稚園の働き方改革推進宣言』策定以降、市P連では「対話をしよう!」「分かち合おう!」「見つめ直そう!」を3つの柱として取組を推進しており、引き続き「子どもも大人もいきいきと笑顔あふれる学校・幼稚園」づくりを、学校・幼稚園と共に進め、子どもと先生方のウェルビーイングの向上を目指します。
- ・学校教育が先生方の献身的な努力により支えられ続けていることを深く心に留めおいた上で、教職員の多忙な状況を理解し、先生方の時間外勤務に結びつくPTA活動を控えることはもとより、過剰な苦情や要求を行うなど先生方を疲弊させるような行為は行いません。
- ・PTAとして果たすべき役割を認識し、先生方がいきいきとした姿で子どもたちと向き合う時間を確保できるよう、先生方を支えて参ります。

2 時代に合わせたPTAへの進化

- ・わたしたちPTAは、この間取り組んできたPTA改革の成果等を振り返り、今後もより質の高い実践活動へと進化し続ける意思を持つことが大切です。
- ・また、今後の活動を進めるうえで、より多くの保護者の皆さんに、安心してPTAの輪に入ってもらえる組織となるよう、現在の活動が今の子どもたちの学びと育ちに資するものとなっているかどうかを再確認し、効果的・効率的な活動を進めながら、持続可能なPTA活動を展開していくことも重要です。
- ・市P連や各連協、そして各校園のPTAにおいては、活動する日時や場所、内容の精選、さらには保護者連絡ツール等のICTの積極的な活用を通して、より多くの保護者の参画のもと質の向上と持続可能なPTA活動を図りながら、学校・幼稚園の働き方改革の推進に積極的に取り組んでいきます。

令和8年3月 京都市PTA連絡協議会

京都市立幼稚園PTA連絡協議会

京都市小学校PTA連絡協議会

京都市立中学校PTA連絡協議会

京都市立高等学校PTA連絡協議会

京都市立総合支援学校PTA連絡協議会

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「**京都はくくみ憲章**」を实践しましょう!

